

2025/07/06~08

焼石岳(夏合宿A組 岩手遠征)

メンバー:L 伊藤、福田(記録)、辻、有賀

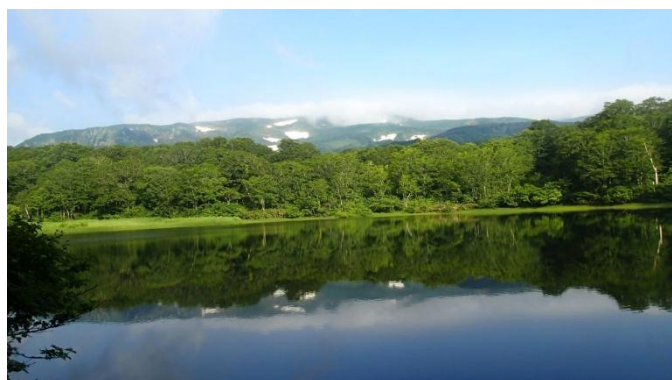
【1日目】

7/6(日) 東北に出発。ボルボに乗せてもらうにあたり、車酔いを心配していたが、奥さんの車酔いのために選んだ車だと聞き、しっかり安心した。

車から降りると、どこも熱風だった。

【2日目】

7/7(月) 胆沢ダムから尿前林道へ入る。ボルボが走るのには、気の毒な道だが、オニシモツケが両側にきれいに迎えてくれる。中沼登山口まで20分。



歩き出すぐ、雪溪の山を映す中沼に出る。みずみずしくきれいだ。木道が長く続く。あやめ、水芭蕉の大きい葉がめだつ。木道は古くなり、時々シーソーになる。樺の林は蒸して汗だく、うんざりするころ、銀明水へ。すばらしく冷たく生き返る。

雪溪がではじめると、お花畑のはじまり。リュウキンカ、ヒナザクラ、イワイチョウ、ミツガシワ

...

大雪溪は、固く締まっているが、雪解け水はどんどん流れ出している。リーダーが先導してくれ、渡り切ると、咲き終わったチングルマ、残念!と思いきや、次の段には満開に大群生。

シナノキンバイ、キヌガサソウ、サンカヨウ、ウサギギク、カラムツソウ、50種書き上げられた。

ガスが出始め、先を急ぐ。最後の登りには、ウスユキソウの群落!残念なことに、ガスがまき、風も出て汗冷えが心配。

山頂から岩手山、早池峰、栗駒、鳥海山まで見えるというが展望無し。写真を撮ってすぐ引き上げる。

「地味な山だなあ」と、伊藤さん。一人で登る年配の男性が、多かった。

下りは熊の情報がぞくぞくとあり、水芭蕉の軸が好物とのこと。水芭蕉の葉が大規模に倒されている新しい場所ありーと、こわごわだった。



【3日目】

7/8（火）、帰路、中尊寺で歴史と平和を学ぶ。金色堂へ向かう切り堀には、ショウジョウバカマがびっしり。「3月にはきれいですよー」と、お店の人がにこにこ話してくれる。

超長距離運転、お疲れさま！

東北の山を満喫しました、ありがとう！！

福田記



▲中尊寺参道

▼睡蓮



【コースタイム】 薄曇り 夏日

05:45 中沼登山口

06:40 中沼

08:15 銀名水避難小屋 8:30

10:30 焼石岳～焼石平下大休憩 11:30 出

12:30 銀名水避難小屋

13:30 中沼

14:00 中沼登山口

【編集後記】

岩手県、奥州市まで 600K。花の百名山、焼石連峰、焼石岳まで遠征。

30度超えのサウナ状態の原生林をぬけ、汗だくの中、雪溪を渡る風が気持ちいいと思っていたのもつかぬ間山頂直下からガスと強風にさらされ一気に汗冷え。ウインドブレーカーをすかさず羽織った。

山頂からの大展望は残念ながら見られなかったが、ヒナコザクラの愛らしさに癒された。

辻

【栗駒国定公園・焼石観光開発のパンフレットより】

岩手県から秋田県にまたがる焼石連峰は焼石岳を中心に 14 もの山々が一大パノラマを形成しています。

ブナの原生林、谷、上沼・中沼など 50 余りの湖沼に加え大小の滝も随所に見られ、夏には 300 種もの高山植物が咲き乱れます。



▲ヤマアジサイ



▲ヒオウギアヤメ



▲ウラジロヨウラク



▲キノガサソウ



▲チングルマ



▲ヒナウスユキソウ
美しい！！



▲イワイチョウ



▲チングルマの大群生



▲ヒナコザクラの大群生

▼ハマボウフウ



▲ヒナコザクラ



▲サンカヨウ



◀タニウツギ

ニガナ▶





▲スダヤクシュ



▲ハクサンチドリ



▲ハクサンチドリ